

チームエッフェガーラ

川口 彰 レースレポート

2013 年 11 月 9～10 日

スーパーSS クラス

(参加 37 台)

SL カートミーティング全国大会

ツインリンクもてぎ北ショートコース

フレーム : birel R31

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BRIDGESTONE SL07

エンジニア: 加藤 真 (レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 野澤 卓也 (チーム エッフェガーラ)

◆今大会にむけての目標、意気込み

ついにやってきた地元もてぎでの全国大会

目標はただひとつ

『高田越え』これすなわち『日本一』

◆レースレポート

・TT 6位 (42.786)

土曜日に行われたタイムトライアルは 2 グループに分かれての出走で自分は後半組。前半組はジャパネット高田氏がトップタイムをマーク。後半組のスタート。徐々にタイヤも温まってきた頃に遅い車に引っかかってしまう。やや強引にパスしたところ 6 コーナーで接触しダート走行。その後タイムも伸び悩み総合 6 位となる。ちょっと不本意だが充分射程圏内なので余裕をもって 1 日目終了。

・予選 B グループ (10LAPS) 3 位スタート → 16 位

イン側スタートの利点を生かし 1 コーナーで 2 位に上がる。セットも決まり序盤からグリップ感が高く 6 コーナーでトップに立ちそのまま逃げ切りを図る。しかしその後、複合コーナーの旋回中に後方から発射された浅野ミサイルが誤爆。まさかのチームメイトの同士討ちでスピン。再スタートするも 16 位で予選を終える。

・決勝 (15LAPS) 32 位スタート → リタイア

ポールの高田氏のはるか後方からのスタート。1 コーナーでリスクを承知で強引に切り抜けようとするが裏目に出て接触してスピン。マシンに異常はなかったがここでレースを諦める。0 周リタイア。

◆レースを終えて

今年の SL 全国大会がもてぎで開催されると決まった時、ライバルである高田氏と戦う最高の舞台であると確信しスーパーSS に参戦する決意をしました。寝る前には全国大会の決勝レースで高田氏とのバトルを制し優勝する姿を毎晩思い描いていました。限られた活動資金と時間の中でベストな状態で臨んだはずであった今大会ですが、優勝どころかライバルの前を一度も走ることもなく静かにレースを終えました。私はとても悔しい気持ちでいっぱいです。監督やメカニック、応援してくれたチームメイトや家族の期待に応えなかった。日本一になって喜びや感動を分かち合いたかった。そんな想いはあっけないほど簡単に消えてしまいました。でも、これがレースというものです。勝者は一人しかいません。その一人になる為に…また来年も頑張るとしますか。

最後になりましたが、応援してくれた皆様一年間ありがとうございました。来シーズンもまたよろしくお願いします。